

定期健診から健康寿命の延伸へ

歯周病の 継続管理と定期健診で 生活習慣病を予防しよう!

心筋梗塞・狭心症

歯周病菌が心臓の冠状動脈の動脈硬化を引き起こす

リスク **3** 倍

糖尿病

歯周病菌の組織から産生される成分がインスリンの働きを阻害する

リスク **2** 倍

動脈硬化

歯周病菌が血管に流れ込んで血栓を形成し血管を狭める

早期低体重児出産

リスク **7** 倍以上

(日本歯科医師会調べ 長期観察調査「歯周病は万病のもと」より)

歯周病



歯周病は万病のもと

お口の健康と全身の健康は密接に関連しており、定期的な健診や口腔ケアによってさまざまな疾病のリスクを抑制できることが明らかになってきました。

脳梗塞

歯周病菌が脳血管の動脈硬化を引き起こす

リスク **2.8** 倍

アルツハイマー型 認知症

歯周病菌がアルツハイマー病の誘発と病状悪化に関係

肺炎

歯周病菌が誤嚥性肺炎の重症化に関与

ウイルス感染

専門的口腔ケアで、インフルエンザの発症率が**1/10**に抑えられたとのデータがあり、新型コロナウイルスにおいても口腔ケアはウイルス感染予防や重症化予防に役立つと考えられている

歯周病は

20歳代

の約

7割

が罹患しています

30歳以上

の約

8割



山梨県歯科医師会